

1/30万。声を上げる必要性を学ぶ

岡山市・ノートルダム
清心女子大付属小5年

ディッピー 丈 ブライアンさん

「新幹線運休、30万人影響」その時、ぼくは品川駅連絡通路の地べたに座っていた。そう。ぼくも30万人の一人だった。ニュースで時々見聞きする事でも、いざ自分がその立場になってみると、その大変さやつかれは想像を超えていた。そして、この旅を通して行動力や発言力の必要性を学んだ。

品川駅では海外からの旅行者も多くいる中2組のカップルがぼくの母に助けを求めてきた。「新幹線は動くの?」「このひかりのチケットで、次の新幹線に乗ってもいい?」日本語のアナウンスメントがあるたびに、不安がつのつていたことだろう。母は、知っている情報を伝えたり、カップルと一緒に駅員に確認したりしてサポートしていた。

「困っている人がいたら、助けてあげなさい。そうすれば、自分が困っている時にだけかが助けてくれる。」「本当に困ったら、自分からヘルプと声を上げなさい。そうしない

と気づいてもらえないから。」むかしから母が私達兄弟に言い続けている言葉だ。

新幹線に乗りこむ時は、母が声を上げた。「もう少し奥につめて下さい。」駅に入ってきた新幹線は、すでにドアの所まで人でいっぱいだったのだ。ありがたい事に車内の人が奥につめてくれ、乗りこむ事が出来たのだ。車内では、身動きがとれない状況。トイレに行きたくなった弟は「男子トイレに行きたいです。通して下さい。」と周りの人達に伝えた。とても細かいが、「モーセ十戒」のような通り道がトイレまで作られた。

今回の経験を通して、「自分が声を上げる必要性」を強く学んだ。記事に書かれている他の被害にあった方々を、直接助ける事は難しいだろう。だからこそ、せめて自分の生活の中で困っている人の助けになれる自分でありたい。

「何かぼくに出来る事はありますか?」



台風7号の影響で陥没した道路。手前は佐治川。16日午前9時51分、鳥取市

台風7号 各地に爪痕

新幹線運休、30万人影響

9府県64人重傷

日本海に抜けて北じた台風7号は16日、広い範囲で影響を及ぼし、各地に爪痕を残した。新幹線は一時全線が運休となり、JR各社による、大規模な遅れが発生した。東海では、30万人超に及ぶ遅れが生じた。15日に大雨特別警報が発せられた鳥取県、16日始発から通常通り

道新幹線は少なくとも上下180本が運休。240本が最大9時間以上遅れ、約30万人に影響した。岡山県、広島県などでも影響を及ぼす恐れがある。岡山エリアの在来線も遅延。24時間降水量は16日未明までに、特別警報が発せられた鳥取市の255.5ミリ、鳥取市では佐治川に架かる高山橋など1つの橋が崩落した。鳥取県内では道路に土砂が流れ込むなどして最大1800人超が孤立状態となった。気象庁によると、台風7号の影響で静岡や東京都の太平洋側では暖かく過

寸評

台風の被害について記事を読み、その時に自分の身に起きた事を深く考察しています。経験から学んだ事を「自分が声を上げる必要性」と的確に表せています。